

むらの底力 左官職人 (商家：木工所)

土壁塗り (つちかべぬり)

左官職人は、建物の壁や床、土塀などをコテ（鏝）を使って塗り仕上げる仕事を専門とします。日本家屋の土壁は、竹などを格子状に編んだ小舞下地（こまいしたじ）の両面に藁を混ぜた土を塗り重ねます。体験で使用する土は、東庄町から採掘した赤土に切藁を混ぜて半年寝かしたもので、テイタ（手板）に乗せてコテで塗り広げます。コテの使い方がポイントです。



土壁塗りの体験風景



林 勝雄氏（旭市）

匝瑳市の左官屋に弟子入りし、のちに独立した。左官一級技能士の資格を持ち、重要文化財などの土壁、漆喰壁の修理も手掛ける。